

地域支援だより

きらりNet

平成26年8月29日

第45号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

図書部の今年度の重点事項から、「児童生徒のニーズに応じた読み聞かせ活動の充実」、「授業における図書の活用事例カードの収集と紹介」の2点について、取組の様子を紹介します。

ニーズに応じた読み聞かせ活動の充実～「お話キャラバン」～

図書部員による読み聞かせ「お話キャラバン」では、『からすのパンやさん』を自作の人形を使い、リズムカルな歌を挿入して動きのある読み聞かせにしました。からす人形の動きや、歌に合わせてパンが次々とボードに貼られる様子を注目する子、歌を聞いて体を動かす子など、それぞれの楽しみ方が見られました。

ブックトーク風にライオンと象に関する絵本や図鑑、工作本を紹介した『ライオンVSぞう』では、工作本をもとに作った紙製のライオンと象を提示し、本のイメージがもてるようにしました。また、映像でお話を楽しめるようにした自作のアニメーション『きらりんとかがやきの丘』が好評でした。

次回の「お話キャラバン」は1月に行います。



「からすのパンやさん」



「ライオンVSぞう」

図書の活用事例カードの収集と紹介

本校の学習において、本は学習意欲を喚起する場面を設定したり、楽しさを共有し互いに認め合う場を提供したりして、異なる学習課題をもつ児童生徒同士をつなぐ重要な役割を果たしていると考えられます。

授業づくりにあたっては、教師が本来のストーリーに沿いながら、児童生徒の実態に合わせた配慮や工夫をしたり、個々の課題となる活動を取り入れたりして、参加・体験型の「お話」に再構成しています。児童生徒は、読み聞かせそのものを楽しむと同時に、ときには登場人物になりきって、がんばることも。

本を活用した学習の積み重ねが、児童生徒が本に親しみ、お話を楽しむ機会に直接結び付きます。そこで図書部では、より多くの職員にたくさんの本を活用してもらえるように、平成23年度から全校職員に呼びかけて、授業における図書の実践事例をカードに記入してもらい、収集、提示しています。紹介カードには、選択した本の特徴、使用したもの、支援の工夫と児童生徒の様子を記入してもらい、今後の本の活用の際の参考になるようにしています。

本校のホームページ「情報ひろば」で見ることができますので、ぜひご覧ください。

きらり☆地区別研修会を終えて

県南7月31日、県央8月4日、県北8月7日の日程で「きらり☆地区別研修会」を実施しました。会には、小・中学校や特別支援学校の教員など3地区合わせて29名の参加がありました。会の前半では、秋田県立医療療育センターの作業療法士、羽澤優子先生、渡辺暁子先生から「上肢動作と適した姿勢について」という演題で作業療法の定義や上肢の動きのメカニズムについての講演をいただきました。

後半は、グループに分かれて各校の取組についての情報交換を行いました。参加者からは、「見え方や姿勢の取り方が大きく動作とつながっていることが分かった」「肢体不自由学級担任として同じような悩みを共有できた。地域のネットワーク作りに役立てたい」などの感想をいただきました。また、参加者の皆様からは、たくさんの質問もいただき活発な会になりました。御参加ありがとうございました。



かがやきの丘祭り盛会！！

7月19日（土）にきらり、盲、聾の3校合同のかがやきの丘祭りが行われました。当日は、児童生徒の出店の他、保護者、福祉作業所、地域の皆様などの出店があり、大変賑わいました。また、ステージでは、ダンスや民踊、手話をまじえた歌などの催しも行われ、夏まつりを盛り上げてくれました。



かがやきの丘ボランティア講座から

8月5日（火）6日（水）の2日間に渡って、きらり、盲、聾の3校合同による「かがやきの丘ボランティア講座」が開催され、14人の参加がありました。アイマスク歩行、車椅子体験などの活動もあり、参加者からは「五感の大切さが身にしみました」「障害をもった人の気持ちが少し分かりました」などの感想をいただきました。



秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 石川 純子 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018（889）8573 FAX：018（889）8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

